

広告デザイン専門学校2024年度 前期シラバス

広告デザイン科1年次・ビジュアルデザイン科

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	月曜午前
授業科目	デスクトップパブリッシング基礎A						単位数	1
担当教員	太田米香			教室	2F教室			
授業形態	講義、実演、実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	1 3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	イラストレーターの基本操作を身につける。 マニュアルで覚えるのではなく、いろんな場面で応用できるような覚え方を心がける。							
授業計画・方法	イラストレーターを中心とした基礎技術を講義と実演で進行し、 実際のデザイン業務にあるような実習も同時に行う。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	マッキントッシュとアプリケーションの基本操作について（講義&実演）							
2	イラストレーターを作業するにあたって（講義&実演）							
3	長方形・楕円ツールについて							
4	オブジェクト・カラー・パスツールについて							
5	線・ブラシツールについて							
6	オブジェクト・カラー・パス・線・ブラシツールを使った練習							
7	ペンツールについて							
8	ペンツールを使った練習							
9	テキストツールについて							
10	パスファインダ・変形・整列ツールについて							
11	パスファインダ・変形・整列を使った練習							
12	ブレンド・その他のツールについて							
13	イラストレーターのレイヤー・配置・リンク・トンボ・印刷について							
14	学んだ技術を使用してのチラシ制作（模倣）							
15	学んだ技術を使用してのチラシ制作（模倣）							
16	学んだ技術を使用してのチラシ制作（模倣）							
教科書	配布プリント 学校で配布されたDTPの教科書							
参考書	学校で配布されたDTPの教科書							
評価方法	評価基準	4 5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率(30%)作品の評価(20%)受講態度(30%)意欲(20%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	学校で配布されたDTPの教科書を学生それぞれ持参していただきたいです。 授業ごとにプリントを用意しますので学生分の出力よろしく願いたします。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	デスクトップパブリッシング基礎B						単位数	1
担当教員	福元紀子			教室	2F教室			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	1 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	Photoshopの機能を理解して、印刷物を作れるようにする。							
授業計画・方法	おもにPhotoshopの機能を学習して、最終的にはIllustratorと関連付けて使えるように進めます。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	自己紹介をしよう 持ち物/筆記用具							
2	DTPとは？ 持ち物/デザイナーズハンドブック							
3	製本してみよう 持ち物/カッターナイフ、ホットケル（入学時の教材に入っています）							
4	Photoshop 1 ツール&パレットの紹介。ファイル名のつけ方など。 持ち物/Mac、マウス							
5	Photoshop 2 Lesson8 P185～レイヤーの操作と色調補正							
6	Photoshop 3 Lesson9 P217～選択範囲の作成							
7	Photoshop 4 Lesson10 P235～色の設定とペイントの操作							
8	Photoshop 5 Lesson11 P251～レイヤーマスクを使う							
9	Photoshop 6 Lesson12 P267～文字、パス、シェイプ							
10	Photoshop 7 Lesson13 P283～画像の修正・加工							
11	Photoshop 8 Lesson14 P301～フィルターとレイヤースタイル							
12	Photoshop 9 Lesson15 P323～IllustratorとPhotoshopの連係							
13	練習問題							
14	練習問題							
15	実技テスト（前期で学習した機能を理解できているかのテストです）							
16	復習							
教科書	入学時に購入した「Illustrator&Photoshop操作とデザインの教科書」、「デザイナーズハンドブック」							
参考書								
評価方法	評価基準	2	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率(30%)、課題提出(30%)、受講態度(20%)、実技テスト(20%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	macとマウスは必要です。毎日使ってマウス操作に慣れましょう。遅刻をしない。損するのは自分自身です。わからないことは遠慮せずに質問してください。※進行具合で内容が変更・前後する場合があります							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午前
授業科目	フォトグラフ						単位数	1
担当教員	松井なおみ			教室	2F教室			
授業形態	講義と実習（講義、撮影実習、グループワークなど）			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	1 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	一眼レフカメラの基本的な機能と操作を身につけ、自分が表現したいイメージをできるだけ近い形で表現できるようになる。							
授業計画・方法	一眼レフカメラの基本を講義・実技両面から学び、撮影実習を通して静物や人物、風景など幅広い被写体をモチーフにする。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	カメラの基礎① (カメラの扱い方・絞り・シャッタースピード・WBなど)							
2	カメラの基礎② (レンズの特性・構図など) テーブルフォト実習							
3	ロケーション撮影 (新栄公園)							
4	料理撮影の基礎 (自然光・ライティング) ストロボの使い方							
5	料理撮影のスタイリング (グループで一つのスタイリングを仕上げる)							
6	人物撮影の基礎 (自然光・ライティング) ストロボの使い方							
7	ポストカード課題制作 (各自で好きなモチーフを持ち寄り撮影、コピーを入れる) 小テスト							
8	作品発表・課題の講評							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
教科書	講師が作成したプリント							
参考書								
評価方法	評価基準	1 4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	受講態度 (40%) 作品の評価 (50%) 小テスト (10%) *出席率は、受講態度に含まれます							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	広告にはどのような写真が使われているか、日常生活の中で意識して見てみる。 授業以外の時間もカメラに触れる時間を作り、操作に慣れておく。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午前
授業科目	フォトレタッチ						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎			教室	A303			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	1 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	Adobe Photoshopの基本操作を学び、撮影した写真を必要とされる画像に変えるための初歩的なレタッチ（修正）を習得する。							
授業計画・方法	レタッチの基本要素(サイズ調整)(色調補正)(修正)(合成)を簡潔にレクチャー							
回/セクション	授業内容・方法							
1	画像サイズ（解像度）とトリミング							
2	選択範囲とチャンネル							
3	色調補正（適正露出）							
4	ゴミとり/加筆と消去							
5	レタッチ/加工（消去と追加）							
6	簡易合成1							
7	レタッチ/合成							
8	レタッチ/複合							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
教科書	DTP教科書							
参考書	なし							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率(30%)理解度(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	習うより慣れる。とにかく写真を加工して慣れること。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙										
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午後		
授業科目	視覚伝達						単位数	1		
担当教員	岩田和樹			教室	2F教室					
授業形態	制作演習			科目系統	基礎科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	内容を理解することは、誰でもできる。しかし理解した内容を瞬時に魅力として表現するためには、具体的な技術が必要だ。その基礎的思考・技術を、演習を通して理解する。									
授業計画・方法	習得を目指すには繰り返し学習が必要だが、課題を通して視覚伝達表現の幅広さを「知る」ことが前提。課題毎に求められる視覚伝達表現のポイントを定め、まずは「体験」し理解を広げる。									
回/セクション	授業内容・方法									
1	科目「視覚伝達」のガイダンス 課題A「my worldview」の説明									
2	発案（視覚表現として考えて整理し、まとめる）									
3	制作①									
4	制作② ※5月17日（金）「描画の時間内」に提出作品を担当講師へ提出									
5	課題A 講評会									
6	課題B「分解と再構成」の説明 発案①									
7	発案②									
8	制作①									
9	制作②									
10	課題B 講評会									
11	課題C「シルエットアイデア」の説明 発案①									
12	発案②									
13	発案③									
14	制作① 下書き									
15	制作②									
16	課題C 講評会									
教科書	特になし									
参考書	適時資料配布、または参考推奨urlを提示。									
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他			
	課題A～課題Cの3課題毎に、授業姿勢と作品内容で評価。平均点を最終的な科目評価とする。									
備考	メッセージ、オフィスアワー									
	デザイナーとしての視覚表現は、前提として「文」ではなく「図」である。伝えたい内容があり、手段が「図」であるなら、様々な内容を「図」にできる知識と技術が必要だ。ここに重点を置き進行する。									

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	水曜午前
授業科目	イラストレーション表現						単位数	1
担当教員	近藤美和			教室	2F教室orA303			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	様々な画材と技法を学び、自分に合った作風を見出す。カレンダーを媒体として、季節感のある絵をシリーズ展開することを習得する。絵の世界観やターゲット設定に沿ったデザインを目指す。展覧会に出品し、外部へPRする。							
授業計画・方法	6種類の画材の扱い方を学んだ後、6枚ものカレンダーのためのイラストレーションをアナログで描き、Illustratorでレイアウトをし、ネット印刷などでカレンダーに仕上げる。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	・自己紹介 ・概要説明 ・今後のオリエンテーション							
2	[ドローイング] ・色鉛筆実習 ・鉛筆実習							
3	[ドローイング] ・カラーインク実習 ・透明水彩絵の具実習							
4	[ドローイング] ・パステル実習							
5	[ドローイング] ・アクリル絵の具実習							
6	・メニコンANNEX訪問 (カレンダー制作のためのヒアリング) ※日時未定 (前倒しの可能性もあり)							
7	[カレンダー制作] ・ラフチェック ・画材、用紙の検討							
8	[カレンダー制作] ・下絵チェック ・画材、用紙の検討							
9	[カレンダー制作] ・下絵転写 ・着色							
10	[カレンダー制作] ・着色							
11	[カレンダー制作] ・着色							
12	[カレンダー制作] ・着色							
13	[カレンダー制作] ・着色							
14	[カレンダー制作] ・原画のスキャニングと画像補正 (Photoshop) ・レイアウト (Illustrator)							
15	[カレンダー制作] ・レイアウト (Illustrator) ・カンパ出力							
16	【プレゼンテーション】							
教科書	講師が作成したプリント等で補う。							
参考書	講師が適宜持参							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率 (30%)、作品の評価 (50%)、受講態度 (10%)、意欲 (10%)							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	展覧会：12月初旬／ギャラリーMenio (メニコンANNEX) /2年生と他校学生・社会人が出品予定。将来的にイラストレーターを目指す人は、積極的に関わってください。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙										
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	水曜午前		
授業科目	広告表現						単位数	1		
担当教員	渡辺恭良			教室	2F教室orA303					
授業形態	講義と実習（課題制作）			科目系統	基礎科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	マークロゴ制作＝「企業ブランドと製品」を自由に選択し、情報収集分析～リニューアル or 新デザインを制作し、ビジネスフォーム等も制作。 ミニカタログ制作＝任意の製品やサービスのカタログを新たなアイデアでまとめ直して制作。 クライアントの商品やサービスを理解し、新デザインを発想～表現する力を付ける事を目標とします。									
授業計画・方法	選択した「企業ブランドと製品」の新デザイン案～サムネイル製作～カンパ実制作までの中で具体的制作方法を学びます。									
回/セクション	授業内容・方法									
1	04/17 全体オリエン 比率について 講義									
2	04/24 マークロゴ制作オリエン。 サンプル参照し、企業/ブランド/製品を選択し、webでも街でもリサーチ&情報収集。									
3	05/08 決定したクライアントの情報分析～競合ライバルも研究の上、アイデアを出来るだけ考え、サムネイル案多数&調査資料等提出。									
4	05/15 前回の提出のサムネイル&調査資料等をチェックし個別返却～再検討～足りない情報・資料は随時追加、内容に活かす。									
5	05/22 サムネイル修正し、さらに内容を調整したらデータ実制作～すべてがシステマティックに構成される事を考える。									
6	05/29 上記までの全てを纏め、 カラー出力仮提出									
7	06/05 前回仮提出のデザイン修正指示～修正作業									
8	06/12 確認～最終完成形提出へ									
9	06/19 ミニカタログ制作オリエン。サンプル参照しつつ「アイテム」決定し、webでも街でもリサーチ&情報収集。									
10	06/26 決定したアイテムの情報分析～アイデアを出来るだけ考えて、サムネイル&調査資料等提出。									
11	07/03 前回の提出のサムネイルと調査資料等をチェックし個別に返却～再検討～足りない情報・資料は随時追加、内容に活かす。									
12	07/10 サムネイル修正してさらに内容を調整したら、データ実制作へ。									
13	07/24 実制作の作業進行する段階で、見せ方や構成の見直しなどさらに変更調整。									
14	07/31 上記までの全てを纏め、 カラー出力仮提出									
15	08/07 前回仮提出のカンパ修正指示～修正作業									
16	08/21 確認～最終完成形提出へ									
教科書	特にないが初期に購入した書籍参考に 講師が作成したプリントや過去作例等を参考に									
参考書	広告年鑑、コピー年鑑等、書籍等、目にして気になった、あらゆる資料。									
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他			
	出席率(20%)・受講態度と意欲(20%)・作品の評価(60%)の総合評価									
備考	メッセージ、オフィスアワー									
備考	選択した企業や製品の将来の繁栄を目指して最善なデザイン提案を考える力を身につけましょう。									

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午後
授業科目	コピーライティング1						単位数	1
担当教員	大原 純子			教室	2F教室			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	コピーライティングとは、広告物における文案制作であり、広告制作における考え方=コンセプトを立案するなど、大切な役割を担っています。そこで広告に関する基本的な考え方と制作に関するスキルの育成を目指します。							
授業計画・方法	広告を構成する要素、キャッチフレーズやボディコピー、スローガン、ネーミング等の役割を学び、各課題について制作します。後半は、それらを用いて観光記事や四コマ漫画を制作します。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	自己プレゼンテーションとイメージゲーム（発想力を養う）							
2	広告物の概要と各メディアの概説							
3	キャッチフレーズの役割と課題制作							
4	新聞広告の概説と課題制作							
5	新聞広告の概説と課題制作							
6	コピー表記の基本～ひらがな、かたかなの使い方を中心に～							
7	ボディコピーの役割と課題制作							
8	スローガンの役割と課題制作							
9	ネーミングの役割と課題制作							
10	これまでの課題の復習と総仕上げ							
11	観光記事の制作～インタビューと取材の方法論～							
12	観光記事の制作～コンセプトを中心に～							
13	観光記事の制作～各コピー制作～							
14	観光記事の制作～レイアウトを中心に～							
15	観光記事の制作～総仕上げ～							
16	四コマ漫画制作							
教科書	講師が作成したプリントを中心に展開します。							
参考書	特にありません。							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	作品の評価（70%）意欲（10%）出席率（10%）受講態度（10%）の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	課題制作中心の授業になるため、事前に資料をリサーチしてください。；							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	木曜午前
授業科目	イラストレーション基礎						単位数	1
担当教員	川下晴子			教室	A303			
授業形態	講義と実習、実技			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	描くことで伝える技術と、コツを習得します。また、イラストへのデフォルメの元となる写実描画練習による画力向上も目指してゆきます。							
授業計画・方法	アナログの画材を中心に手描きでの画力向上、イラスト表現を実技を中心に学習していただきます。また、理論の講義部分はillustratorも使用してゆきます。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	前期	描くことで伝えるⅠ 色で伝える						
2		描くことで伝えるⅡ 形で伝える						
3		描くことで伝えるⅢ 作品制作、講評						
4		スケッチ練習・基本						
5		スケッチ練習・応用						
6		スケッチ練習・理論						
7		スケッチ練習・陰影						
8		スケッチ作品制作、提出（前期最終課題）						
9	後期	デフォルメとは、イラストで伝える・講義						
10		デフォルメとは、イラストで伝える・作品制作、講評						
11		絵具の使い方						
12		いろんな画材を使ってみよう						
13		画材を使っでの作品制作、提出						
14		イラストで伝える作品制作Ⅰ						
15		イラストで伝える作品制作Ⅱ						
16		イラストで伝える作品制作Ⅲ（後期最終課題）						
教科書								
参考書								
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	授業内評価（出席率20% 授業内容への理解度20% 授業内容への意欲30%）提出作品への評価30%							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	画力向上に向けてとにかくたくさん描いてほしいです。もし授業外での練習をご希望の方はいつでもお声がけください！							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	木曜午前	
授業科目	編集デザイン基礎						単位数	1	
担当教員	福安聡一郎			教室	2F教室				
授業形態	講義と実習(講義、演習、実習など)			科目系統	基礎科目				
授業目標	観点	1	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	デザインに必要な商品やサービス、メッセージ等の内容を精査し各メディアでの作品を制作することで、デザインをするための編集基礎の理解を深めることを目指す。								
授業計画・方法	デザインアプリケーション(Illustrator、Photoshop)を用いて各課題を解説と共に制作。制作時には質疑応答、修正指示等を経て知識を深める。								
回/セクション	授業内容・方法								
1	前期	授業進行説明、基本解説・講義、次課題の解説・進行 ※各自好きな雑誌(なければ教科書、フリーペーパー等でも可)と級数表を持参							
2		【誌面調査】◇限られたスペース内で整理された雑誌デザインを調査し、構成の理解を深めます。写植級数表を使用して誌面のバランス・サイズ等を調べます。(授業後に提出)							
3		【フォントレイアウト】◇文字のみでレイアウト制作をします (1/3:解説/ラフ制作)							
4		(2/3:制作)							
5		(3/3:制作・提出)							
6		【レイアウトの考案】◇企業パンフレットのデザインページ制作をします。(1/3:解説/ラフ制作)							
7		(2/3:制作・提出)							
8		(3/3:作品の全体講評、見直し後再提出)							
9	後期	【誌面制作】◇誌面制作の基本とレイアウトの基礎的な練習をします。(1/3:ラフ通りの誌面制作)							
10		(2/3:別案レイアウトの制作)							
11		(3/3:別案レイアウトの制作・提出)							
12		【WEBバナー広告】◇縦サイズの自由なWEBバナー広告(LP)の編集レイアウト、デザインを制作します。◇内容に沿った構成、レイアウト・デザイン制作をする練習です。(1/5:ラフ制作 ※+前回課題の個々講評、見直し)							
13		(2/5:制作)							
14		(3/5:制作・提出)							
15		(4/5:制作・提出・個々に講評、見直し)							
16		(5/5:個々に講評、見直し・提出)							
教科書	講師が作成したプリント等で補う。								
参考書									
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	出席率(30%) 作品の評価(30%) 受講態度(30%) 意欲(10%)の総合評価								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	不明点は分からないまま進めず確認すること。課題はステップアップ形式なので各課題期限までに完成提出をすること。								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	木曜午後
授業科目	デザイン探訪						単位数	1
担当教員	ゲスト講師			教室	2F教室			
授業形態	クリエイターとしての知見を広める講義			科目系統	一般科目			
授業目標	観点	1 3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	さまざまなジャンルで活躍するクリエイターの仕事や生き方、考え方に触れて、将来のビジョンにつながる知見を広めることを目的とする。							
授業計画・方法	職業に対する認識を高め、クリエイティブな仕事に対する意識を高める。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	4/18 安藤誠一郎 / 校長・商業デザイン・空間デザイン・アート・フォトグラフ							
2	4/25 平井秀和 (ピースグラフィックス代表) / グラフィックデザイナー							
3	5/9 柳智賢 (RYU DESIGN代表) / グラフィックデザイナー・アートディレクター							
4	5/16 萩原大輔 (株式会社GOCCO) / デザインディレクター							
5	5/23 山内瞬葉 (山内瞬葉デザイン室代表) / グラフィックデザイナー							
6	5/30 くらやなぎてっぺい / 映像作家・プランナー							
7	6/6 小川明生 (株式会社TMC 代表取締役) / グラフィックデザイナー・ディレクター							
8	6/13 永津直樹 (トヨタ自動車株式会社) / カーデザイナー							
9	6/20 桑山奈々実 (ラビッツスペース) / ディスプレイデザイナー							
10	6/27 安藤真理 (MARI代表) / グラフィックデザイナー							
11	7/4 吉田聖未 (office HIYOGRAPHY代表) / レタッチャー・フォトグラファー							
12	7/11 萩原大輔 (株式会社GOCCO) / デザインディレクター							
13	7/18 エンド護 (ENDLAND代表) / イラストレーター							
14	7/25 くらやなぎてっぺい / 映像作家・プランナー							
15	8/1 イワコシタツヤ (CS2 取締役) / 映像ディレクター							
16	8/8 山岸美紗 (つちやみさ) / ビジュアルデザイナー・アーティスト							
教科書	なし。講師からプリントが配布される場合もある							
参考書	なし。必要に応じ指示する。							
評価方法	評価基準	5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席、レポート							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	オフィスアワーは設けられませんが、時間の許す限り質問してみるのが良いでしょう。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	金曜午前
授業科目	描画とトレース						単位数	1
担当教員	描画＝岩田和樹／トレース＝福元紀子			教室	2F教室			
授業形態	実技演習＋適時講義			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	描画＝昨今、デザイナー志望でありながら描けない者が多い。短い期間ながら、描くポイントを学ぶ。 トレース＝描ければ自信がつくのはアプリも同じ。Illustratorの「パス」に自信をつけるパソコン上での実技演習。							
授業計画・方法	描画が前半8週目まで。トレースは、9週目～16週目までの各8コマで進める。 課題という位置付けではなく、目的は「練習」であり、失敗しても当たり前。得意・苦手を自覚し、次に活かす。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	「描画」のガイダンス・オリエン 描画①の1							
2	描画①の2							
3	描画①の3							
4	講評会と描画②の1							
5	描画②の2							
6	描画②の3							
7	講評会と描画③の1							
8	描画③の2							
9	講評会／「トレース」のガイダンス							
10	トレース①の1							
11	トレース①の2							
12	トレース②の1							
13	トレース②の2							
14	トレース③の1							
15	トレース③の2							
16	予備日							
教科書	トレース＝「パスクール」（入学時購入）							
参考書	描画＝適時紹介							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	「描画」「トレース」共に、各作品毎に点数で評価。その平均点で「描画・トレース」の評価とする。							
備考	メッセージ、オフィスアワー デザイナーとしての基本は、言葉なくとも「他者にわかってもらえる」程度の画力が必要。 一年次前半ほどの科目も練習作品と言えるが、更に基礎としての練習時間と考え、目的を理解し学んでほしい。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	金曜午後
授業科目	デザイン基礎						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎			教室	2F教室			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	2 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	○デザインの目的を理解を理解する。○自然や人によって生み出された様々なエレメントから色とカタチを認識する。○デザインを科学的に捉える。○造形の要素を理解する。これらを踏まえて自身が考えるデザインの可能性を広げることを目的とする。							
授業計画・方法	講義により知識と考察を深め、実技でデザインを体感する。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	講義：デザインの目的とデザイナーの役割							
2	実技：単一要素による構成(線)							
3	実技：単一要素による構成(線)							
4	実技：色彩研究/プロセスカラー実習							
5	実技：色彩研究/プロセスカラー実習							
6	講義：伝達方法の追求							
7	実技：色彩と配色によるイメージ							
8	実技：色彩と配色によるイメージ							
9	実技：色彩と配色によるイメージ							
10	講義：レイアウトを科学する							
11	実技：具象表現・配置によるデザイン							
12	実技：具象表現・配置によるデザイン							
13	実技：具象表現・配置によるデザイン							
14	講評会							
15	講評会							
16	講評会							
教科書	DESIGN BASIC/JAGDA教科書から抜粋 担当講師によるプレゼンテーション							
参考書	デザイナーズハンドブックレイアウト編、一目でわかる配色とレイアウト、グラフィックセオリー							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率(30%)作品の評価(50%)意欲(20%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	授業中、机での学習よりも、外での観察や活動が活きることが多い。生活の中で常にデザインを意識すること。							

広告デザイン科 2 年次

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙										
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月曜木曜午前		
授業科目	ビジュアルデザインA2						単位数	2		
担当教員	岩田和樹			教室	4階教室					
授業形態	制作演習+適時講義			科目系統	実践科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	広告は目的であり、デザインは手段である。そのトレンド、タイポグラフィ表現のデザイン演習。デザイナーとしての「専門性に値する、独創性・創造性」を研究し、カタチにする。									
授業計画・方法	本課題の主旨は「研究」であり、最終的に「研究発表」を行う。研究は自由楽しく。進行は一年次から進めてきた「デザイナーズ・ワークフロー」の精度を上げる。									
回/セクション	授業内容・方法									
1	第01週 科目「VD2_A」についてのガイダンス									
2	第02週 科目「日本タイポグラフィ年鑑2024」ガイダンス									
3	第03週 研究・サムネイル									
4	第04週 研究・サムネイル									
5	第05週 研究・サムネイル									
6	第06週 研究概要のまとめ									
7	第07週 研究内容発表会									
8	第08週 制作									
9	第09週 制作									
10	第10週 制作									
11	第11週 制作									
12	第12週 中盤講評会									
13	第13週 制作									
14	第14週 制作									
15	第15週 制作									
16	第16週 終盤講評会									
教科書	「タイポグラフィ・ベーシック」									
参考書	過去5年分の「日本タイポグラフィ年鑑」（事務局内図書）									
評価方法	評価基準	4	5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	研究内容発表会・中盤講評会・終盤講評会の各進行点を足した平均点 + 完成作品の総計									
備考	メッセージ、オフィスアワー 年鑑へ2008年、初参加。指導者として右往曲折を繰り返し、16年間で入選を逃したのは1年だけであり、結果を出した学生は卒業後も活躍している。「今年は今年のスタイルで」デザイン攻略する楽しさを学んでほしい。									

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月曜木曜午前	
授業科目	マーケティングデザイン2						単位数	2	
担当教員	安藤誠一郎			教室	3階教室				
授業形態	講義・演習・実習			科目系統	実践科目				
授業目標	観点	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	商品、商戦、商空間、商環境。商業におけるデザイナーの仕事は、市場や人の動きをつかみ何のためにデザインするのかを理解する事である。必要とされるデザインをするには、目的や必要性について深く考え明解に意図されていなければならない。誰に？何を？どうして？いつどこで？カタチを作り出す前にマーケティングからのデザインの目的について理解し、最大限の効果を得るための展開を目指す。								
授業計画・方法	目的、必要性、コンセプト、切り口、メッセージ、表現、展開。あらゆる可能性を考えながら媒体表現までをトータルデザインする。								
回/セクション	授業内容・方法								
1	商業におけるデザインを考える／市場調査とAIDMAを基にした媒体の理解								
2	課題A) 企業のデザインCI,VI (ブランディング)								
3	課題A) 企業のデザインCI,VI (ブランディング)								
4	課題A) 企業のデザインCI,VI (CI, VI)								
5	課題A) 商品のプロモーションデザイン (マーケティング～コンセプトワーク)								
6	課題A) 商品のプロモーションデザイン (マーケティング～コンセプトワーク)								
7	課題A) 商品のプロモーションデザイン (発案・制作) / 媒体表現の可能性								
8	課題A) 商品のプロモーションデザイン (発案・制作) / 媒体表現の可能性								
9	課題A) 商品のプロモーションデザイン (プレゼンテーション)								
10	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (マーケティング～コンセプトワーク)								
11	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザインCI,VI (ブランディング)								
12	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (マーケティング～コンセプトワーク)								
13	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (発案・制作)								
14	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (発案・制作)								
15	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (発案・制作)								
16	課題B) 店舗の商環境(トータル)デザイン (プレゼンテーション)								
教科書	都度必要な資料を配布する。								
参考書	適宜指示する。								
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	出席率、プロセス、プレゼンテーションツール、制作物の平均点で評価する。								
備考	メッセージ、オフィスアワー 他の授業と比較すれば時間数は多いが、内容的にはボリュームがあります。すべての課題にプレゼンテーション(発表)があります。授業時間外でも相談に来てください。時間があれば対応します。								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月曜午後
授業科目	ビジュアルデザインB2 (ビジュアルデザイン専攻)						単位数	2
担当教員	星野公作			教室	4階教室			
授業形態	演習と実習			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	情報のことを文字や数字と思っている人が多い。しかし人が制作物を見たときには文字や数字でないものから情報を感じ取っているはずである。作り手として日常にある様々な表情や質感などを再発見し、グラフィックとして昇華させる。							
授業計画・方法	日常にありふれた表情を素材として「グラフィックメッセージ」「演劇ポスター」「本の装丁」「DM」「過去作品」の、全5課題を制作する。後半では簡易シルクスクリーン技法も行う。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	1週【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成 (A3) 制作1							
2	2週【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成 (A3) 制作2							
3	3週【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成 (A3) 制作3							
4	4週【第2課題】本の装丁 (A5) 制作1							
5	5週【第2課題】本の装丁 (A5) 制作2							
6	6週【第2課題】本の装丁 (A5) 制作3							
7	7週【第2課題】本の装丁 (A5) 制作4							
8	8週【第3課題】演劇ポスター (B3) 制作1							
9	9週【第3課題】演劇ポスター (B3) 制作2							
10	10週【第3課題】演劇ポスター (B3) 制作3							
11	11週【第3課題】演劇ポスター (B3) 制作4							
12	12週【第4課題】展覧会DM制作 (A6) 制作1							
13	13週【第4課題】展覧会DM制作 (A6) 制作2							
14	14週【第4課題】展覧会DM制作 (A6) 制作3							
15	15週【第5課題】過去作品 制作1							
16	16週【第5課題】過去作品 制作2							
教科書	なし							
参考書	なし							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	作品と出席率で評価する。※詳細は初回授業時に説明します。							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	データをPCのみで作成はせず、何かしらのアナログ表現を取り入れたグラフィックを作成していただきます。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月曜午後	
授業科目	コミュニケーションデザイン2 (マーケティングデザイン専攻)						単位数	1	
担当教員	森俊博			教室	3階教室				
授業形態	課題実習			科目系統	実践科目				
授業目標	観点	2 3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他		
	企業や商品、社会の課題を解決するアイデアの発想及び、コミュニケーション全体の設計・企画する力を身につける。								
授業計画・方法	各課題について個別指導が主体となります								
回/セクション	授業内容・方法								
1	ラジオCM企画 (JFNラジオCMコンテスト) 企画 / 販促コンペ:オリエン								
2	ラジオCM企画 (JFNラジオCMコンテスト) : 提出 / 販促コンペ: 企画チェック① (個別指導)								
3	販促コンペ: 企画チェック② (個別指導)								
4	販促コンペ: 企画チェック③ (個別指導)								
5	販促コンペ: 企画チェック④ (個別指導)								
6	販促コンペ: 企画チェック⑤ (個別指導)								
7	販促コンペ: 企画チェック⑥ (個別指導)								
8	販促コンペ: プレゼン&講評								
9	新商品を企画する:オリエン								
10	新商品を企画する: 企画チェック① (個別指導)								
11	新商品を企画する: 企画チェック② (個別指導)								
12	新商品を企画する: 企画チェック③ (個別指導)								
13	新商品のプロモーション企画: 企画チェック① (個別指導)								
14	新商品のプロモーション企画: 企画チェック② (個別指導)								
15	新商品のプロモーション企画: 企画チェック③ (個別指導)								
16	新商品のプロモーション企画: プレゼン・講評								
教科書	特にありません								
参考書	特にありません								
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	課題への取り組み姿勢と作品クオリティ。課題未提出の場合は赤点となります。								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	JFNラジオCMコンテスト (https://jfn.co.jp/cmc/) 販促コンペ (https://hansoku.co/) 9~16の授業内容は変更する可能性があります。								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙										
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午前		
授業科目	デスクトップパブリッシング2						単位数	1		
担当教員	岩田和樹			教室	3階教室					
授業形態	時間内前半=講義・時間内後半=DTP演習			科目系統	専門科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	本来「DTP」とは、必須アプリケーションを中心に「プリプレス・プレス・ポストプレス」を理解し、実践する言葉である。即戦力として使える知識と正確な技術を身につけ、技能に反映させる。									
授業計画・方法	毎授業前半=主に、講義内容、配布する参考資料を使い、進行内容に対しての具体的講義。 毎授業後半=ペラ物の模倣を基にした、オペレーション演習。									
回/セクション	授業内容・方法									
1	科目「DTP」についてのガイダンス、DTPの基礎知識① トラブルシューティング									
2	DTPの基礎知識②									
3	DTPの基礎知識③									
4	DTPの基礎知識④									
5	カラー印刷の基礎知識①									
6	カラー印刷の基礎知識②									
7	カラー印刷の基礎知識③									
8	カラー印刷の基礎知識④									
9	テキストデータの基礎知識①									
10	テキストデータの基礎知識②									
11	テキストデータの基礎知識③									
12	テキストデータの基礎知識④									
13	その他の基礎知識①									
14	その他の基礎知識②									
15	その他の基礎知識③									
16	習得内容評価試験									
教科書	配布する「DTP・印刷知識」									
参考書	「デザイナーズハンドブック」(入学時購入)									
評価方法	評価基準	1	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	習得内容評価試験=60% 制作課題=40%									
備考	メッセージ、オフィスアワー									
	ここ数年で残念ながら「DTPができていない」という声をよく聞く。また実際にそうである。解決のため、進行内容も変化させる。「理解できない」「わからない」をそのままにしないよう、努めて欲しい。									

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午後	
授業科目	マーケティングコミュニケーション						単位数	1	
担当教員	佐伯陽介			教室	3階教室				
授業形態	講義			科目系統	専門科目				
授業目標	観点	1	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	マーケティングの理論と考え方を理解し、分析方法を身につける。								
授業計画・方法	教材（配布資料）を基に講義を進める。マーケティングと関連する理論を、実際の企業や製品などの実例などを通じて理解する。成績評価では、マーケティングの分析手法の実習を行う。								
回/セクション	授業内容・方法								
1	商業とは：商業の仕組みと役割								
2	経済とは：経済の仕組みと社会の仕組み								
3	経営とは：企業と企業経営の理解								
4	市場とは：マーケット（市場）の仕組みと社会の仕組み								
5	マーケティングの定義と考え方								
6	マーケティングリサーチ 情報を読み解く								
7	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング								
8	マーケティング・ミックス								
9	マーケティングマネジメント								
10	マーケティングコミュニケーション1								
11	マーケティングコミュニケーション2								
12	ブランディング								
13	CI（コーポレート・アイデンティティ）								
14	ユーザーエクスペリエンス								
15	製品開発								
16	マーケティング分析（実習）								
教科書	講義開始前に教材を配布する。								
参考書	適宜指示する。								
評価方法	評価基準	5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	出席率（30%）受講態度（50%）提出課題（20%）で評価する。								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
	基本的に講義形式で行います。社会の仕組みからマーケティングの実践まで、専門知識を身につける講義です。意欲を持って積極的に取り組んでください。								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午前
授業科目	キャリアガイダンス2						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎			教室	3F教室			
授業形態	講義・ディスカッション・制作実習			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2 3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	就職活動の為の準備と作品制作（プレゼンテーションファイル）を進めながら、進路に関する発達課題を主体的に達成する能力を養い、自己の人生設計のもとに進路を選択・実現する。授業内において適宜面接練習や個別面談を行う。							
授業計画・方法	課題解決に軸を置いたテーマを想定。自主性を持って課題を進行する。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	科目内容のガイダンス／就活とは							
2	ポートフォリオチェック／履歴書の作成							
3	就活のコツ／労働目標／社会実践→自己課題設定・スケジュール							
4	履歴書・PR書の作成 面接の対策							
5	プレゼン資料作成							
6	プレゼン資料作成							
7	プレゼンテーション①							
8	プレゼンテーション②							
9	用途別資料の計画／個別面談							
10	用途別資料の作成／個別面談							
11	用途別資料の作成／個別面談							
12	用途別資料の作成／個別面談							
13	ポートフォリオ見直し							
14	面接の対策							
15	面接演習							
16	希望する会社を設定した計画							
教科書	「広報担当者のための～」クリ活2 ポートフォリオ見本長							
参考書	テーマに応じ、参考資料を適時配布。							
評価方法	評価基準	2 3	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	受講姿勢=50% 自主性=20% 活動内容=20%							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	2年生は本番待った無し。授業進行を待たずして就活しなければならない。前のめりで準備を進めることともに報告・相談を欠かさないこと。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午後	
授業科目	WEBデザイン2 (ビジュアルデザイン専攻)						単位数	1	
担当教員	金田貴之			教室	4階教室				
授業形態	講義と実習			科目系統	専門科目				
授業目標	観点	1	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	AdobeXDにてサイト (5ページ位の規模想定) の企画・設計・デザインを一緒に学び作成する								
授業計画・方法	アプリケーション (Photoshop, Illustrator, XD) のWebデザインに最低限必要なツールの使いサイトデザイン制作を解説していきます。								
回/セクション	授業内容・方法								
1	Webサイト制作の概要の説明・XD基本操作								
2	XD基本操作とPhotoshop,Illustratorのソフトの連携								
3	XD実践練習								
4	Webサイト制作の企画・設計vol1								
5	Webサイト制作の企画・設計vol2								
6	Webサイト制作の企画・設計vol3								
7	デザイン制作vol1								
8	デザイン制作vol2								
9	デザイン制作vol3								
10	デザイン制作vol4								
11	デザイン制作vol5								
12	デザイン制作vol6								
13	デザイン制作vol7								
14	デザイン制作vol8 後半：サーバーにファイルアップ								
15	前半：サーバーにファイルアップ 後半：講評会								
16	講評会								
教科書	講師が作成した資料で補う。								
参考書	Webデザインの基本、UX+理論で作るWebデザイン、Webマーケティング								
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他		
	出席率(30%) 作品の評価(30%) 受講態度(30%) 意欲(10%)の総合評価								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	分からないこと、疑問に思ったことは遠慮無く聞いてね								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙										
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午後		
授業科目	WEBデザイン2 (マーケティングデザイン専攻)						単位数	1		
担当教員	酒井陽一			教室	3階教室					
授業形態	講義と実習			科目系統	専門科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	WEBサイトに関する基本的な知識と構築の基礎。業務としてのWEBデザイン体験。企画と提案の経験。就活に使えるWEBサイトデザインとHTML構築の実績。									
授業計画・方法	企画、プロトタイプデザイン制作、HTML構築、サーバーアップロードまで、WEB制作の流れをひと通り体験する。就活に使える資料作り。									
回/セクション	授業内容・方法									
1	■前半/自己紹介。オリエンテーション (WEBデザインとは ブラウザ・HTMLとは) ■後半/XDを使用したWEBサイトデザイン体験 (1) (既存のWEBサイトをリニューアルする想定で、XDを使用して写真・原稿を配置)									
2	■前半/XDを使用したWEBサイトデザイン体験 (2) ■後半/XDの共有機能の説明と体験 (クラスメートのデザインしたサイトに書き込む体験)									
3	XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験 (1) (既存のWEBサイトをリニューアルする想定で、XDを使用してワイヤーフレームを作成)									
4	XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験 (2) (ワイヤーフレームをベースにデザインを制作)									
5	XDを使用した複数ページのWEBデザイン体験 (3) (ワイヤーフレームをベースにデザインを制作。共有機能でURLを発行して提出)									
6	HTMLテンプレートを使ったWEBサイト制作 (1) HTMLとCSSの理解									
7	HTMLテンプレートを使ったWEBサイト制作 (2) CSSデザイン・JSライブラリを使った様々な機能									
8	■前半/ドメイン・サーバーとは (自分のディレクトリの設定とドメイン取得体験) ■後半/アップロードとダウンロード (FTPクライアントを使用して、自分の作成した画像データをアップロード)									
9	XDによるプロトタイプ作成 (1) (新規でWEBサイトを作成する想定で、企画書を作成。XDを使用してワイヤーフレームを制作)									
10	XDによるプロトタイプ作成 (2) (ワイヤーフレームからデザインを作成)									
11	XDによるプロトタイプ作成 (3) (ワイヤーフレームからデザインを作成)									
12	XDによるプロトタイプ作成 (4) (ワイヤーフレームからデザインを作成。共有機能でURLを発行して提出)									
13	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装 (1)									
14	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装 (2)									
15	HTMLテンプレートを使ったデザインと実装 (3) (作成したWEBサイトを自分のディレクトリにアップロードして、URLを提出)									
16	まとめ									
教科書	使用するテンプレート等は授業時に配布									
参考書	参考になるWEBサイト等は授業時に配布									
評価方法	評価基準	3	4	5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率 (40%) 制作物に対する評価 (30%) WEBに関する探究心 (20%) 受講態度 (10%)									
備考	メッセージ、オフィスアワー									
備考	WEBデザイナーの仕事内容の幅はとても広く、ゼロから完成まで一人で完結する会社もあれば、デザイン画のみ制作する分業制の会社もあります。デザイン画のみ制作するデザイナーも、プログラムやシステムに関する経験や知識は広く持ち合わせています。デザインだけでなく、WEBサイト制作全般を経験することで、より幅広いWEBデザイン能力を身に付けてください。									

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙									
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	木曜午後	
授業科目	ソーシャルデザイン（マーケティングデザイン専攻）						単位数	1	
担当教員	清水夏樹			教室	3階教室				
授業形態	講義・実習・産学連携			科目系統	実践科目				
授業目標	観点	2 3		1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	技術や市場が変化しても、社会の役に立てる本質的なデザインの力とそこに至る思考を身につけ、最終的に印刷会社さんと協働しながら商品やグッズとして形にするまでを経験します。また自分自身の『好き』や『強み』を探求し、デザイナーとしての存在意義や在り方を発見することで、社会人としてのキャリアの第一歩を有意義なものとすることを目標にします。								
授業計画・方法	グループでの対話・産学連携								
回/セクション	授業内容・方法								
1	自己紹介シート作成・自分プレゼンテーション【4.18】								
2	ソーシャルデザインとは（講義）・社会課題と向き合う①（グループワーク）【4.25】								
3	社会課題と向き合う②（グループワーク）【5.09】								
4	中島紙工さん紹介・工場見学【5.16】								
5	課題提示『私の好きが創造するソーシャルグッド』・自己探究【5.23】								
6	哲学対話『好きとは』【5.30】								
7	企画・グループディスカッション【6.06】								
8	企画・グループディスカッション【6.13】								
9	企画・中間プレゼンテーション①【6.20】								
10	制作（グループワーク）【6.27】								
11	制作（グループワーク）・【7.04】								
12	制作（グループワーク）・チェック・中島紙工さんへ入稿【7.11】								
13	中島紙工さんへ入稿・キャリアについて（講義）【7.18】								
14	IDGsについて（研究）【7.25】								
15	完成・プレゼンテーション・講評【8.01】								
16	総括・自己評価【8.08】								
教科書	特になし								
参考書	特になし								
評価方法	評価基準	4 5		1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	個人がどれだけ成長出来たか、考えることが出来たかなど、自己評価も含め相対的でなく絶対的な評価をします								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
	連携して下さる中島紙工さんはクラフトマンシップに溢れる小さな印刷会社さんで、社長もお若くて気さくな方です。学校から徒歩10分以内とアクセスも良好なので、デザインについて考えるから創るまでを密に体験しましょう！ 検索⇒ https://www.nakashimashiko.com								

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	金曜午前
授業科目	産学連携						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎/近藤美和			教室	3階教室			
授業形態	実習			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	デザイン制作の基本は「共感する」⇒「課題を定義する」⇒「考える（アイデア発想）」⇒「考えたことをカタチにする」こと。クライアントやユーザーに対して説得力のある提案をし、社会に対して魅力を発信することを目標として制作を進める。							
授業計画・方法	1.イオンモールナゴヤドーム前との連携事業として風鈴展示イベントに協力する。会期6月1日～7月15日 2.メニコンギャラリーMenioにて開催されるカレンダー展に出品するカレンダー原画と商品をデザインする。会期12月							
回/セクション	授業内容・方法							
1	課題ガイダンス・工程確認 クライアントの経営理念・事業展開への理解/やぐらデザインの発案							
2	やぐらデザイン（システム構築）のデザイン画制作							
3	やぐらデザイン（システム構築）のデザイン画制作完成/風鈴デザインに着手							
4	風鈴デザイン制作①（実物に対して絵付けを行う）							
5	風鈴デザイン制作②→完成（実物に対して絵付けを行う）/ポスター制作 27日に納品							
6	ポスター制作完成→当日納品							
7	現地展示物鑑賞（イオンモールサウスコート）							
8	課題ガイダンス・クライアント（メニコンANNEX）訪問							
9	イラストレーションラフ制作（画材、技法、用紙の検討）							
10	イラストレーション下絵制作→転写							
11	イラストレーション着彩							
12	イラストレーション着彩							
13	イラストレーション着彩							
14	イラストレーション完成→スキャニング							
15	レイアウト→カンパ出力							
16	プレゼンテーション→展覧会メインビジュアル選抜							
教科書	特になし							
参考書	イオンモール資料							
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	1.イオンモールナゴヤドーム前との連携事業：出席率20点、プロセス20点、制作物60点の割合で評価する。 2.メニコンギャラリーMenioにて開催されるカレンダー展：出席率（30%）、作品の評価（50%）、受講態度（10%）、意欲（10%）							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	内容的にはタイトなスケジュールとなる上、外部との連携事業のため毎時間の進捗報告を欠かさないこと。先方に対し2回のプレゼンテーションがあります。制作物のクオリティはもちろんですが、制作行程の順守が最も重要です。							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	金曜午後
授業科目	雑誌編集						単位数	1
担当教員	中山 雅人			教室	3階教室or4階教室			
授業形態	講義と実習			科目系統	専門科目			
授業目標	観点	1 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	<p>エディトリアルデザインはとにかく多くの経験を積む・デザインの引き出しを持つことが大切です。昨年の授業で学んだInDesignの操作方法を活用して、さまざまなデザインをどんどん実践しながら学んで行く。また実習だけでなく、実際に現場で使えるテクニックや知識、業界の仕組み、裏話なども交えて解説し、理解を深める。雑誌・本を作る楽しさ、文字組みの楽しさを少しでも知ってもらいたいと思います。</p>							
授業計画・方法	InDesignを使用し、雑誌をはじめとした編集デザインを学ぶ。デザインの幅を広げるため、デザインしたものを品評会にてそれぞれ発表し合います							
回/セクション	授業内容・方法							
1	InDesign実践1：誌面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする。							
2	InDesign実践1：デザイン制作							
3	InDesign実践1：デザイン制作							
4	InDesign実践1：デザイン制作→品評会							
5	InDesign実践2：誌面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする。							
6	InDesign実践2：デザイン制作							
7	InDesign実践2：デザイン制作							
8	InDesign実践2：デザイン制作→品評会							
9	InDesignグループワーク：小冊子制作							
10	InDesignグループワーク：小冊子制作							
11	InDesignグループワーク：小冊子制作							
12	InDesignグループワーク：小冊子制作							
13	InDesignグループワーク：小冊子制作							
14	InDesignグループワーク：小冊子制作							
15	InDesignグループワーク：小冊子制作							
16	InDesignグループワーク：品評会							
教科書	講師が作成したPDF等で補う。							
参考書								
評価方法	評価基準	4	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率(30%)、作品の評価(40%)、受講態度・意欲(30%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
	遅刻しないこと。金曜日の授業後は時間をとれるので、質問等どんどん受け付けます！							

広告デザイン専門学校 2024年度シラバス記入用紙								
授業年度	2024	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	金曜午後
授業科目	動画表現						単位数	1
担当教員	浅野 禎之			教室	3階教室or4階教室			
授業形態	実習			科目系統	専門科目			
授業目標	観点	1 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	Premiere ProとAfter Effectsを中心とした、動画制作の基礎的な知識と技術を習得する。							
授業計画・方法	PremiereとAfter Effectsを中心に、トラッキング、3Dレイヤー、グリーンバック合成、カメラ機能、ライト機能など、1年後期より踏み込んだテーマに沿った授業課題を通じて映像制作技術を学ぶ。							
回/セクション	授業内容・方法							
1	授業課題 1-1							
2	授業課題 1-2							
3	授業課題 1-3							
4	授業課題 2-1							
5	授業課題 2-2							
6	授業課題 2-3							
7	授業課題 3-1							
8	授業課題 3-2							
9	授業課題 3-3							
10	授業課題 4-1							
11	授業課題 4-2							
12	授業課題 4-3							
13	自主制作-1							
14	自主制作-2							
15	自主制作-3							
16	自主制作-4							
教科書	授業課題に沿ったテキストを適宜作成							
参考書								
評価方法	評価基準	5	1.筆記試験	2.口述試験	3.レポート審査	4.作品・技術審査	5.その他	
	出席率と授業態度を考慮し、総合的に判断する							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考								